

令和5年度 第1回朝霞市博物館協議会次第

日 時 令和5年10月25日(水)
午後2時～
場 所 朝霞市博物館 講座室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 令和4年度事業報告

(2) 令和5年度事業計画及び進捗報告

(3) その他

・令和4年度購入資料、令和5年度購入予定資料紹介

4 閉 会

※ 閉会后、お時間がございましたら、ぜひ、第37回企画展「樹木と人の暮らし」をご観覧ください。

朝霞市博物館協議会委員名簿

任期：令和5年2月20日～令和7年2月19日

No.	委員名	カタカナ	職名または所属
1	猪俣 みちよ	イノタ ミチヨ	公募委員
2	榎本 洋二	エノモト ヨウジ	陶芸家
3	金子 幸男	カネコ ユキオ	朝霞市公民館運営審議会委員長
4	杉山 正司	スギヤマ マサシ	元埼玉県立歴史と民俗の博物館主任専門員兼学芸員
5	鈴木 香織	スズキ カオリ	朝霞第五中学校長
6	陶山 憲裕	スヤマ ケンユウ	朝霞市文化財保護審議会委員会議長
7	利根川 仁志	トネガワ ヒトシ	朝霞市議会議員
8	原口 憲充	ハラグチ ハリミツ	朝霞第四小学校長
9	茂木 静枝	モキ シズエ	朝霞市公民館運営審議会委員
10	吉岡 知子	ヨシオカ トモコ	埼玉県立近代美術館学芸員

50音順

令和5年度 第1回博物館協議会
資 料

日 時 令和5年10月25日(水) 午後2時

会 場 朝霞市博物館 講座室

令和 4 年度事業報告

令和4年度（2022年度）博物館事業報告

令和4年（2022年）4月1日～令和5年（2023年）3月31日

令和5年3月31日現在

1 令和4年度利用統計

年度	開館日数	入館・利用者数 (団体会)	学校団体		一般団体	
			団体数	人数	団体数	人数
令和4年度	285日	24,774人	23団体	1,267人	25団体	222人
令和3年度	288日	31,351人	19団体	1,188人	16団体	130人
平成8年 ～令和2年度	6,761日	1,151,225人	896団体	67,455人	2,925団体	38,442人
合計	7,334日	1,207,350人	938団体	69,910人	2,966団体	38,794人

2 令和4年度事業報告

事業名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数
常設展示	考古分野 「遺跡が語る朝霞」 歴史分野 「陸の道と水の道」 民俗分野 「水となりわい」	朝霞の歴史や文化について、遺跡とその出土品、川越街道と膝折宿、舟運と東上線、水車利用の伸銅を取り上げ、エポック展示として紹介する。	—	通年	24,705人
	民俗分野 「むかしの暮らし」	昭和30～40年代頃の暮らしの風景や道具について紹介する。	—	4月1日(金) ～8月24日(水) ※9～3月は展示替えのため入替撤収	7,573人
	美術・工芸分野 「朝霞の美術・工芸」	市内に伝わる染色、仏像・神像を取り上げ紹介する。	—	4月1日(金) ～7月3日(日) ※8～3月は展示替えのため入替撤収	4,528人
第36回企画展	「台の城山遺跡と 向山遺跡 ～弥生の斧を 手に入れたムラ～」	弥生時代中期の石斧や鉄斧で知られる両遺跡について、出土遺物の様相から窺える人やモノの動き、さらには石斧や鉄斧の入手ルートを想定し紹介した。	—	11月12日(土) ～12月18日(日)	2,510人
	講演会① 「タネから探る 農耕の始まり —朝霞市と周辺の レプリカ法調査から—」	土器の圧痕からタネを同定するレプリカ法の調査成果より、身近な地域から日本列島まで農耕の始まりについて解説した。	どなた でも	11月23日(水・祝) 午後2時～3時30分 明治大学 黒耀石研究センター 客員研究員 遠藤 英子 氏	31人
	講演会② 「石器から鉄器移行期 の武蔵野台地 —中央高地から 到来した斧—」	中央高地が鍵となる石斧や鉄斧の流通網と武蔵野台地の関係性から、両遺跡の斧の入手について解説した。	どなた でも	12月10日(土) 午後2時～3時30分 長野県教育委員会事務局 文化財専門員 馬場 伸一郎 氏	33人

事業名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数
市制施行 55 周年記念 「丸沼芸術の森コレクション アンドリュー・ワイエス 水彩・素描展 —アルヴァロの世界—		市制施行 55 周年を記念し、丸沼 芸術の森コレクションの中でも 国内外で随一の収集を誇るアン ドリュー・ワイエスの作品をは じめ、丸沼芸術の森とのゆかり の品を展示した。	土・日 祝日は 事前予 約制	10月8日(土) ～10月30日(日) 協賛：丸沼芸術の森	4,324人 内覧会除く
	内覧会	丸沼芸術の森による内覧会 (関係者・招待者のみ)	関係者 招待者	10月7日(金) ① 午後1時30分 ～2時10分(40分間) ② 午後2時30分 ～3時10分(40分間) ③午後4時～5時(1時間)	① 20人 ② 20人 ③ 38人 計 78人
	ギャラリート ーク	展示作品について、学芸員等 による解説を行った。	事前 予約制 (市民 優先)	① 10月8日(土) 丸沼芸術の森 学芸員 中村 音代 氏 ② 10月15日(土) 丸沼芸術の森 学芸員 河野 和子 氏 ③ 10月22日(土) 丸沼芸術の森 美術担当 山岸 充良 氏 ④ 10月29日(土) 丸沼芸術の森 学芸員 畦森 建 氏 各回 午前11時～正午	① 27人 ② 30人 ③ 26人 ④ 28人 計 111人
テ ー マ 展 示	「朝霞市県展作品展」	第70回埼玉県美術展覧会(県展) において出品された市内作家の 入選作品等 29 点を紹介した。	—	9月10日(土) ～9月25日(日) 協賛：朝霞市美術協会	1,334人
	出品者 内覧会	出品者による内覧会	出品者	9月8日(木) 午前10時～11時	21人
ギ ャ ラ リ ー 展 示	「朝霞にやってきた 外来植物」	私たちの身の周りに数多く生息 している外来植物の中には、一 部で社会問題になっているもの も存在する。その中で、どの植物 が外来植物で問題を引き起こし ているかは、広く知られていな い。そのような外来植物の中 でも、外国から朝霞にやってきた ものについて、写真を中心に紹 介した。	—	4月1日(金) ～6月5日(日) ※前年度継続事業 ～1月29日(土)	3,399人 ※前年度～ 8,747人
	「朝霞の神社と 古事記のおはなし」	古事記の物語とともに、登場 する神々を祭神とする市内の神社 を写真パネルで紹介した。	—	令和5年1月31日(火) ～3月31日(金) ※次年度継続事業 ～6月4日(日)	4,506人
収 蔵 資 料 展 示	「東京 2020 オリンピック・ パラリンピック 1周年記念展」	博物館が収集・受贈した資料の 中から、昨年度朝霞市も射撃の 会場となった東京2020オリ ンピック・パラリンピックの1 周年を記念し、関連資料を展示 した。	—	7月23日(土) ～8月24日(水)	2,054人
	小学校3年生博物館 利用授業展示 「昔の道具」	博学連携事業で来館する市内小 学校3年生の授業プログラムに 沿った「昔の道具」を展示した。	—	令和5年1月17日(火) ～3月31日(金) ※次年度継続事業 ～4月9日(日)	5,748人

事業名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数
資料紹介展示	「独楽」	独楽の歴史や地域に根付いた独楽などの紹介とともに、収蔵資料から独楽を展示した。	—	4月29日(金) ～7月3日(日)	3,117人
	博物館体験教室 関連展示 「ワタから糸へ」	綿織り機や糸車をはじめとする体験用使用などにより、ワタから糸になるまでを紹介した。	—	①4月1日(金) ～4月28日(木) ※前年度継続事業 2月5日(土)～ ②令和5年2月4日(土) ～3月31日(金) ※次年度継続事業 ～4月9日(日)	①1,411人 ※前年度～ 6,221人 ②3,916人
	博物館実習生展示 ①「社会情勢からみる社会科教科書の歴史」 ②「東武東上線の歴史」 ③「昭和三十年～四十年代小学5年生ふみお君の1日」	博物館実習生3班が、それぞれテーマを設けて収蔵資料を紹介した。 ※展示ケース3台による	—	8月24日(水) ～8月31日(水)	475人
生体展示	「朝霞で見られる水の生き物」	コイ・フナ・ドジョウ・アメリカザリガニなど朝霞で見られる水の生き物について生体展示を行った。	—	4月1日(金) ～3月31日(金)	24,705人
	「博物館で生まれたカブトムシ」	夏休み期間にあわせ、博物館で羽化したカブトムシの生体展示を行った。	—	7月17日(日) ～8月28日(日)	2,627人
歴史講座	「江戸時代の朝霞の村々」 (連続3回)	徳川家康が江戸に幕府を開いてから200年以上続いた江戸時代。その頃の朝霞はどのような様子だったのか、市域に残された資料等を紐解きながら、初心者向けに分かりやすく解説することにより、歴史や郷土朝霞、郷土史学習への興味喚起の一助とする。 ①江戸時代の朝霞 ②村の事件簿① ③村の事件簿②	どなたでも(市民優先)	① 令和5年2月26日(日) 午前10時～11時30分 当館館長(学芸員) 赤澤 由美子 ② 令和5年3月5日(日) 午前10時～11時30分 立正大学専任講師 栗原 健一氏 ③ 令和5年3月12日(日) 午前10時～11時30分 立正大学専任講師 栗原 健一氏	① 55人 ② 53人 ③ 52人 延べ160人 連続受講者 60人
古文書講座	「はじめての古文書」 (連続6回)	朝霞市内に残る古文書を読み解き、古文書の読み方とともに地域の歴史を学ぶ。	どなたでも(市民で初めての方優先)	①12月18日(日) ②12月25日(日) ③令和5年 1月8日(日) ④1月22日(日) ⑤2月12日(日) ⑥2月19日(日)※講師急病のため中止 各回とも午前10時～正午 立正大学専任講師 栗原 健一氏	① 37人 ② 34人 ③ 37人 ④ 38人 ⑤ 35人 ⑥ - 延べ181人 連続受講者 32人

事業名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数
博物館体験教室	①「火おこしに挑戦！」	考古学、歴史学、博物館への関心の喚起をねらいとし、木製発火具による火おこし体験教室を実施した。	小学5年生以上	4月24日(日) ①午後1時30分～2時15分 ②午後2時45分～3時30分 当館学芸員 江原 順	① なし ② 2組6人 計6人
	②「たたき独楽を回してみよう！」	日本の伝統文化に対し、興味と理解を育てるために、様々な地域の特色ある独楽を実際に回す体験教室を実施した。	どなたでも	5月5日(木・祝) 午後1時～午後3時30分 当館学芸員 岡田 貴哉	27人
	③「はじめての篆刻」	篆刻を通し、字形の歴史を学ぶことを目的とし、彫刻刀で石を掘り、オリジナルの印鑑を作成した。	18歳以上	9月11日(日) 午後1時30分～午後4時30分 大東文化大学 人文科学研究所 兼任研究員 権田 逸盧 氏	6人
	④「未来へのおくりものプロジェクト」	これからの未来を生きていく子どもたちに過去、現在、未来についてより楽しく理解してもらうために、子どもたちが粘土で埋葬して残したい形を自由に制作し、皆で野外焼成を行い、出来上がった作品を実際に埋める。	小学3年生以上とその保護者	①制作 10月10日(月・祝) (1)午前10時～正午 (2)午後2時～4時 会場：博物館講座室 ②焼成・埋葬 10月23日(日) 午前10時～午後4時30分 会場：丸沼芸術の森 丸沼芸術の森 アーティスト 河 明求 氏	①(1) 4組8人 ①(2) 5組10人 計9組18人 ②時間内自由参加のため不明
	⑤「おりがみで干支を折ろう！」	年始という実施時期を鑑み、干支である「卯」に因んで「うさぎ」を折り紙で制作した。	小学5年生以上	令和5年1月7日(土) ①午前10時～正午 ②午後1時30分～3時30分 日本折紙協会 本多 秀子 氏	計14人
	⑥「糸車で糸を紡ごう」	糸車を使って綿から糸を紡ぎ、綿の繊維を引き出し撚りをかけ、巻き取るという糸を紡ぐ工程を学んだ。	小学3年生以上	令和5年3月21日(火) ①10:00～10:55 ②11:00～11:55 ③13:30～14:25 ④14:30～15:25 当館館長(学芸員) 赤澤 由美子	①3組10人 ②3組9人 ③3組10人 ④3組4人 延べ 12組33人
夏休み体験教室	①「コースターを織ろう！」	身近な材料を使い、織物の原理を学ぶため、簡単な織機でコースターを織った。	小学3年生～6年生	8月3日(水) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 専門技術者 菅井 美穂子 氏	① 3人 ② 5人 計8人
	②「土器をつくろう！」	体験をとおして土器の特徴を学ぶため、焼かずに固まる粘土を使って、大昔の手法や文様で土器を作った。	小学3年生～6年生	8月10日(水) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 当館学芸員 岡田 貴哉	① 6人 ② 4人 計10人
	③「まが玉をつくろう！」	ろう石を削り磨いて大昔のアクセサリー・勾玉を作った。勾玉とは何かを学んだ後、勾玉づくりの技術の一端を体験した。	小学1年生～6年生	8月25日(木) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 当館学芸員 江原 順	① 8人 ② 8人 計16人

事業名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数	
博学連携事業	小学校3年生 博物館利用授業	市内 小学校 3年生	令和5年 ①1月17日(火)九小2C ②1月19日(木)十小2C ③1月20日(金)十小2C ④1月24日(火)二小3C ⑤1月26日(木)五小2C ⑥1月31日(火)五小3C ⑦2月1日(水)一小3C ⑧2月2日(木)七小2C ⑨2月3日(金)七小2C ⑩2月9日(木)三小2C ⑪2月15日(水)六小3C ⑫2月16日(木)六小2C ⑬2月17日(金)四小3C ⑭2月21日(火)八小3C ⑮2月22日(水)八小3C ⑯2月24日(金)三小2C	① 57人 ② 57人 ③ 60人 ④ 104人 ⑤ 63人 ⑥ 96人 ⑦ 73人 ⑧ 63人 ⑨ 63人 ⑩ 68人 ⑪ 109人 ⑫ 73人 ⑬ 103人 ⑭ 98人 ⑮ 92人 ⑯ 69人 10校 1,248人	
	小学校1年生 博物館利用授業	市内 小学校 1年生	令和5年 ①1月17日(火)～ 1月20日(金)四小 ②1月17日(火)～ 1月20日(金)九小 ③1月20日(金)～ 1月24日(火)一小 ④1月24日(火)～ 1月27日(金)三小 ⑤1月24日(火)～ 1月27日(金)六小 ⑥1月31日(火)～ 2月7日(火)二小 ⑦1月31日(火)～ 2月7日(火)八小 ⑧2月7日(火)～ 2月9日(木)五小 ⑨2月9日(木)～ 2月17日(金)七小	① 74人 ② 94人 ③ 105人 ④ 150人 ⑤ 168人 ⑥ 214人 ⑦ 129人 ⑧ 157人 ⑨ 124人	
	博物館 利用検討委員会	市内小中学校教諭からなる同委員会にて、上記プログラムなどの博学連携事業、その参考資料となる刊行物作成等について検討し、学校の博物館利用促進を図るとともに、研修会では展示・収蔵庫見学・体験実習を実施した。 主催：博物館利用検討委員会	市内 小中 学校 教諭	8月24日(水) 定例会及び研修会 当館館長(学芸員) 赤澤 由美子	17人
	博物館学芸員 実習	学芸員養成課程履修学生の館務実習を受け入れた。	大学生	8月16日(火) ～8月23日(火) 【6日間】	7大学7人

事業名		趣旨・内容	日程
調査	古文書調査	古文書目録の整備及び市内田島地区に伝残した古文書の解説を行った。	通年
	自然史資料調査	博物館や文化財所管施設の自然史資料（生態系等）の調査を行った。	通年

3 刊行物・広報

刊行物・ 広報等	『朝霞市県展作品展』	ポスター 300枚 (令和4年8月26日発行) ハガキ 1,000枚 (令和4年8月26日発行) リーフレット 1,200枚 (令和4年9月8日発行)
	『丸沼芸術の森コレクション アンドリュー・ワイエス水彩・素描展 —アルヴァロの世界—』	ポスター 500枚 (令和4年9月8日発行) チラシ 13,000枚 (令和4年9月8日発行)
	朝霞市博物館 第36回企画展 「台の城山遺跡と向山遺跡 ～弥生の斧を手に入れたムラ～」	展示図録 850部 (令和5年11月12日発行) ポスター 500枚 (令和5年10月29日発行) チラシ 14,000枚 (令和5年10月29日発行)
	ギャラリー展示 『朝霞の神社と古事記のおはなし』	リーフレット 1,000部 (令和5年1月31日発行)
	『朝霞市博物館調査報告書 第11集 大畑家文書目録』	400部 (令和5年3月31日発行)
	『朝霞市博物館要覧 第13号』	PDF化してホームページ上に掲載 (令和5年3月31日発行)
	記者発表による報道機関等への周知を行うと共に、報道機関等からの取材に対し、企画展・講座等の博物館事業の情報提供等を行う。また、『広報あさか』及び朝霞市ホームページに事業情報を掲載し、メール配信サービスにて情報を配信するなど、広報に努める。	記者発表：2件（丸沼展開催、県展開催） 新聞社：2件 情報誌等：5件 テレビ：2件 広報あさか：毎月号 ホームページ：随時更新 メール配信サービス登録者：随時

4 その他

(1) 来館者に影響のある運営・施設管理

- ・館内くん蒸による臨時休館 6月10日（金）～16日（木）【7日間】
- ・エレベーター改修工事 3月1日（水）～13日（月）

(2) 利用者アンケート

- ・感染症対策：クリップペン、使用済みペン入れを設置し、都度消毒を行う。
- ・実績：4月1日（金）～3月31日（金） うち開館日数：285日
入館者数：24,774人 うちアンケート回答者数：165人（0.7%）

(3) 映画撮影協力

- ・作品名：テレビ朝日ドラマ「緊急取調室」劇場版
- ・撮影日：令和4年7月12日（火）午前6時～午後1時
- ・撮影場所：展示室、ギャラリー、中庭、通用口
- ・放送日：令和5年（詳細未定）

令和 5 年度事業計画及び進捗報告

令和5年度（2023年度）博物館事業報告

令和5年（2023年）4月1日～令和5年（2023年）9月30日

令和5年10月1日現在

1 令和5年度利用統計

年度	開館日数	入館・利用者数 (団体含む)	学校団体		一般団体	
			団体数	人数	団体数	人数
令和5年度 (～9月)	146日	11,808人	2団体	30人	58団体	527人
令和4年度	285日	24,774人	23団体	1,267人	25団体	222人
平成8 ～令和3年度	7,049日	1,182,576人	915団体	68,643人	2,941団体	38,572人
合計	7,480日	1,219,158人	940団体	69,940人	3,024団体	39,321人

2 令和5年度事業報告

※展示の参加人数は入館・利用者数から出張事業人数を除いたもの

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数
常設展示	考古分野 「遺跡が語る 朝霞」 歴史分野 「陸の道と 水の道」 民俗分野 「水となりわい」	—	【通年】	11,808人
	民俗分野 「むかしの くらし」	—	【日程】 4月22日(土) ～8月20日(日) ※企画展・テーマ展示等 開催時は撤収・入替	7,689人
	美術・工芸分野 「朝霞の 美術・工芸」	市内に伝わる染色、 仏像・神像を取り上 げ紹介する。	—	【日程】 4月22日(土) ～7月2日(日) ※企画展・テーマ展示等 開催時は撤収・入替
第37回企画展	第37回企画展 樹木と人の暮らし	—	【日程】 10月14日(土) ～11月26日(日)	
	企画展関連体験教室 ①「行燈を つくろう！」 ②「凧を つくろう！」	①木材の枠に絵を描 いた和紙を貼って、 オリジナルの行燈を つくる ②和紙に好きな絵を 描いて、自分だけの オリジナル凧をつく る	小学1～6年 生(1・2年 生は保護者 同伴)	【日程】 ①10月28日(土) 午後1時30分～3時 ②11月19日(日) 午後1時30分～3時 【講師】 当館学芸員 岡田 貴哉

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数
テーマ展示	朝霞市県展作品展	第71回埼玉県美術展覧会(県展)において出品された市内作家の入選作品等を集めて紹介する。	—	【日程】 9月9日(土) ～24日(日)	1,418人
	出品者内覧会	出品者による内覧会	出品者	【日程】 9月7日(木) 午前10時～11時	18人
ギャラリー展示	「朝霞の神社と古事記のおはなし」	市内神社の写真パネルと併せ、その祭神に関連する古事記の話を紹介する。	—	【日程】 4月1日(土) ～6月4日(日) ※前年度継続事業 1月31日(火)～	3,824人 ※前年度～ 4,506人
	「あさか発掘調査速報展—足元に眠る地域の記憶—」	令和4年度に実施した市内の発掘調査成果について、出土した土器や発掘調査の写真パネル等を中心に紹介・展示する。	—	【日程】 7月1日(土) ～9月3日(日)	5,171人
	「タイトル未定」	朝霞の歴史・民俗・美術に関わるテーマで、写真パネルを中心とした展示を行う。	—	【日程】 令和6年2月～6月 ※次年度に継続	
収蔵資料展示	収蔵資料展示 「絵図・地図にみる朝霞」	近年の収蔵資料調査成果に基づき、近世から現代にかけての朝霞の絵図・地図を紹介する。	—	【日程】 7月22日(土) ～8月20日(日)	2,813人
	小学校3年生博物館利用授業展示 「昔の道具」	昭和30～40年代頃のくらしの風景や道具について、常設の民俗展示を拡充して紹介する。	—	【日程】 ①4月1日(土) ～4月9日(日) ※前年度継続事業 1月17日(火)～ ②12月～令和6年3月	① 622人 ※前年度～ 5,748人 ②
資料紹介展示	博物館体験教室 関連展示 「ワタから糸へ」	綿織り機や糸車をはじめとする体験用使用などにより、ワタから糸になるまでを紹介する。	—	【日程】 ①2月4日(土) ～4月9日(日) ※前年度継続事業 2月4日(土)～ ②	① 622人 ※前年度～ 3,916人 ②
	「独楽」	独楽の歴史や地域に根付いた独楽などの紹介とともに、収蔵資料から独楽を展示する。	—	【日程】 4月29日(土) ～7月2日(日)	3,489人
	博物館実習生展示 ①「絵馬」 ②「比べてみよう！ 2つの時代 ～昭和10年と 昭和40年～」 ③「集まれ！あの頃の 少年少女～人気キ ャラクターの移り 変わり～」	博物館実習生3班が、それぞれテーマを設けて収蔵資料を紹介する。※展示ケース3台による	—	【日程】 8月23日(水)～ 9月5日(火)	271人

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数
生体展示	「朝霞で見られる水の生き物」	コイ・フナ・ドジョウ・アメリカザリガニなど朝霞で見られる水の生き物について生体展示を行う。	—	【通年】	11,808人
	「博物館で生まれたカブトムシ」	夏休み期間にあわせ、博物館で羽化したカブトムシの生体展示を行う。	—	【日程】 7月22日(土) ～8月20日(日)	3,795人
講座	歴史講座(連続3回)	朝霞や周辺地域における郷土史について学習する。	どなたでも(市民優先)	【日程】 令和6年1～3月 【講師】 大学教授等	
	古文書講座(連続6回)	朝霞市内に残る古文書を読み解き、古文書の読み方とともに地域の歴史を学ぶ。	どなたでも(市民で初めての方優先) ※連続受講可能者	【日程】 12月10日(日)、24日(日)、 令和6年 1月7日(日)、21日(日)、 2月11日(日)、25日(日) 各回とも 午前10時～正午 【講師】 立正大学専任講師 栗原 健一 氏	
博物館体験教室	①「たたき独楽を回してみよう！」	日本の伝統文化に対し、興味と理解を育てるために、様々な地域の特色ある独楽を実際に回す体験教室を実施する。	どなたでも	【日程】 5月5日(金・祝) 午後1時～ 午後3時30分 【講師】 当館学芸員 岡田 貴哉	9組21人
	②「はじめての篆刻」	篆刻を通し字形の歴史を学ぶことを目的とし、彫刻刀で石を掘りオリジナルの印鑑を作成する。	市内在住で18歳以上の方	【日程】 9月23日(土) 午後1時30分 ～4時30分 【講師】 埼玉大学講師 大東文化大学 オープンカレッジ講師 権田 逸廬 氏	6人
	③「火おこしに挑戦！」	木製発火具を使って火をおこす。考古学への関心を喚起することをねらいとする。	どなたでも	【日程】 12月3日(日) ①午前10時～11時 ②午後1時30分 ～2時30分 【講師】 当館学芸員 江原 順	
	④「おりがみで干支を折ろう！」(予定)			【日程】 令和6年1月	
	⑤「糸車で糸を紡ごう」(予定)			【日程】 令和6年3月	

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数
夏休み体験教室	①「まが玉をつくろう！」	ろう石を磨いて勾玉を作る。勾玉とは何かを学び、勾玉づくりの技術の一端を体験する。	小学生	【日程】 8月3日(木) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】 当館学芸員 江原 順	① 12人 ② 12人
	②「コースターをつくろう！」	身近な材料を使い、簡単な織機でコースターを織る。体験を通して織物の原理を学ぶ。	小学生 (1・2年生は保護者同伴)	【日程】 8月10日(木) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】 専門技術者 菅井 美穂子氏	① 14人 ② 15人 ※保護者含む
	③「鏡づくりに挑戦！」	低融点合金と石膏鋳型で小型鏡をつくる。体験を通して、市内でも出土例のある青銅鏡の理解を深める。	小学3～6年生	【日程】 8月24日(木) 午後1時30分～4時 【講師】 当館学芸員 江原 順	12人
博学連携事業	小学校3年生 博物館利用授業	郷土学習を始める市内小学校3年生を対象に、調べ学習、体験学習などの博物館利用授業を行う。 ※バス借上げによる来館児童送迎あり(教育指導課予算)。	市内小学校3年生	【3学期】(1～2月)	—
	小学校1年生 博物館利用授業	小学校1年生国語科「たぬきの糸車」に伴う糸車体験教室を行う。 ※出張授業	市内小学校1年生	【3学期】(2～3月) (学校の希望日)	—
	博物館利用 検討委員会	市内小中学校教諭からなる同委員会にて、上記プログラムなどの博学連携事業等について検討し、学校の博物館利用促進を図る。	市内小中学校教諭	【定例会兼研修会】 7月5日(水) 午後3時30分～4時30分 【主催】 博物館利用検討委員会	16人
	博物館学芸員実習	学芸員養成課程履修学生の館務実習を受け入れる。	大学生	【日程】 8月15日(火)～8月22日(火) (※6日間)	8大学 8人

事業・講座名		趣旨・内容	日程
調査	古文書調査	古文書目録の整備及び解説を行う。	通年
	自然史資料調査	博物館や文化財所管施設の自然史資料（生態系等）の調査を行う。	通年

3 刊行物・広報

刊行物	『朝霞市県展作品展』	ポスター 300枚（令和5年8月31日発行） ハガキ 800枚（令和5年8月31日発行） リーフレット 1,100枚（令和5年9月7日発行）
広報	記者発表による報道機関等への周知を行うと共に、報道機関等からの取材に対し、企画展・講座等の博物館事業の情報提供等を行う。また、『広報あさか』及び朝霞市ホームページに事業情報を掲載し、メール配信サービスにて情報を配信するなど、広報に努める。	情報誌等 : 3件 インターネットサイト : 2件 ラジオ : 1件 広報あさか : 毎月号 ホームページ : 随時更新 メール配信サービス登録者 : 随時

4 その他

(1) 新型コロナウイルス感染症対策解除（常設展示のハンズオン資料を再開、HPからコロナ対策を削除）
令和5年5月9日（火）

(2) 館内くん蒸による臨時休館
令和5年6月16日（金）～令和5年6月22日（木）【7日間】

(3) 利用者アンケート【令和5年9月30日現在】

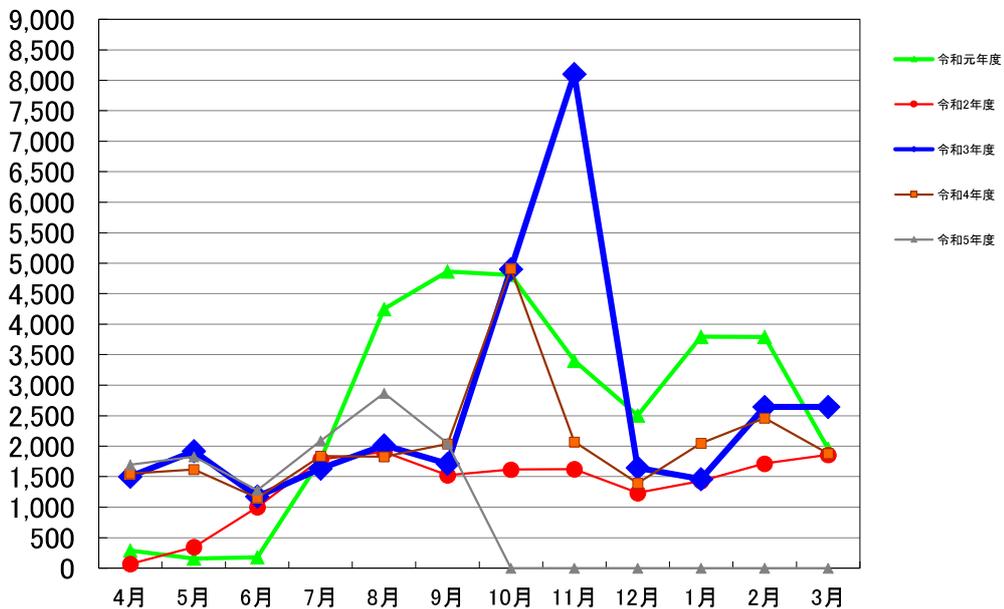
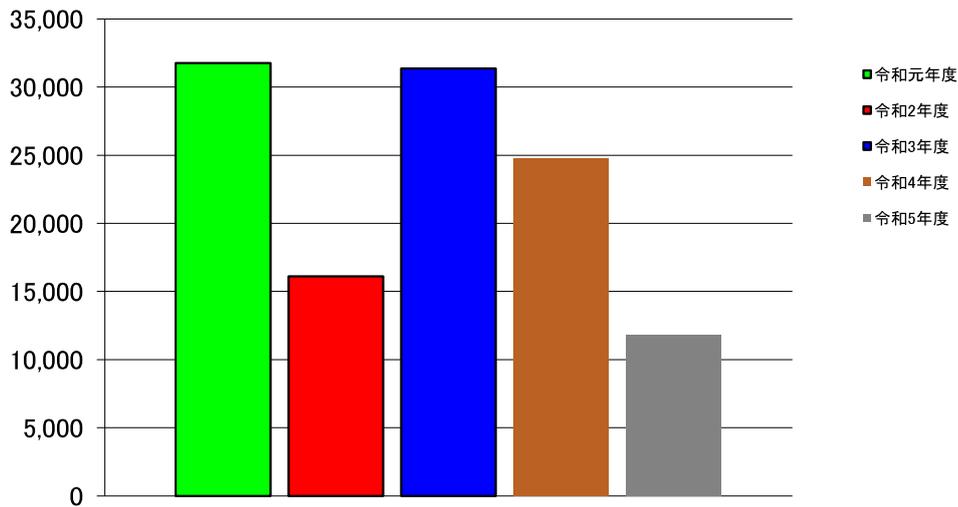
・ 4月1日（土）～9月30日（土） うち開館日数 : 146日
入館者数 : 11,808人 うちアンケート回答者数 : 77人 (0.7%)

(4) 県展アンケート

・ 9月9日（土）～9月24日（日） うち開館日数 : 14日
入館者数 1,418人 うちアンケート回答者数 : 22人 (1.6%)

利用統計 令和元年度～令和5年度(令和5年9月末現在)

年数	24			25			26			27			28		
	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	開館 日数	入館者数	平均 入館者数												
4月	0	289	—	1	69	69	24	1,501	63	25	1,547	64	25	1,697	68
5月	0	159	—	6	345	58	25	1,918	77	24	1,614	67	25	1,827	73
6月	0	179	—	18	1,001	56	19	1,175	62	19	1,153	64	19	1,276	67
7月	10	1,779	178	27	1,787	66	27	1,633	60	26	1,838	71	25	2,091	84
8月	27	4,251	157	25	1,906	76	25	2,014	81	24	1,827	76	26	2,868	110
9月	24	4,864	203	25	1,524	61	25	1,710	68	26	2,038	78	26	2,049	79
10月	27	4,807	178	26	1,615	62	26	4,904	189	26	4,908	189		0	
11月	26	3,399	131	23	1,624	71	24	8,103	338	24	2,071	86		0	
12月	22	2,501	114	22	1,235	56	23	1,647	72	21	1,391	66		0	
1月	22	3,794	172	23	1,429	62	22	1,459	66	22	2,046	93		0	
2月	23	3,789	165	21	1,715	82	22	2,643	120	23	2,462	107		0	
3月	25	1,959	78	25	1,857	74	26	2,644	102	25	1,879	75		0	
計	206	31,770	154	242	16,107	67	288	31,351	109	285	24,774	87	146	11,808	81



○朝霞市博物館条例

平成8年10月1日条例第18号

改正

平成24年3月29日条例第9号

平成28年6月27日条例第30号

朝霞市博物館条例

(設置)

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第2条第1項に規定する博物館として、朝霞市博物館（以下「博物館」という。）を朝霞市岡2丁目7番22号に設置する。

(入館料)

第2条 博物館の入館料は、無料とする。ただし、博物館が期間を定めて特別の企画による資料を展示した場合には、市長は、入館料の額を定め、これを徴収することができる。

(入館料の免除)

第3条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者については、前条ただし書の入館料を免除することができる。

- (1) 教育課程に基づく学習活動として入館する朝霞市立、志木市立、和光市立又は新座市立の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部及び中学部の児童又は生徒
- (2) 前号に掲げる者の引率者
- (3) 博物館主催の事業に参加する者
- (4) その他市長が特別の理由があると認める者

(入館料の還付)

第4条 既納の入館料は、還付しない。ただし、朝霞市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、特別の理由があると認めるときは、入館料を還付することができる。

(博物館協議会)

第5条 法第23条第1項の規定に基づき、朝霞市博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(定数)

第6条 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、10人とする。

(任命)

第7条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活

動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

(任期)

第8条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第9条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第10条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第11条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

(委任)

第12条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成9年2月12日から施行する。

附 則 (平成24年条例第9号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (平成28年6月27日条例第30号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。